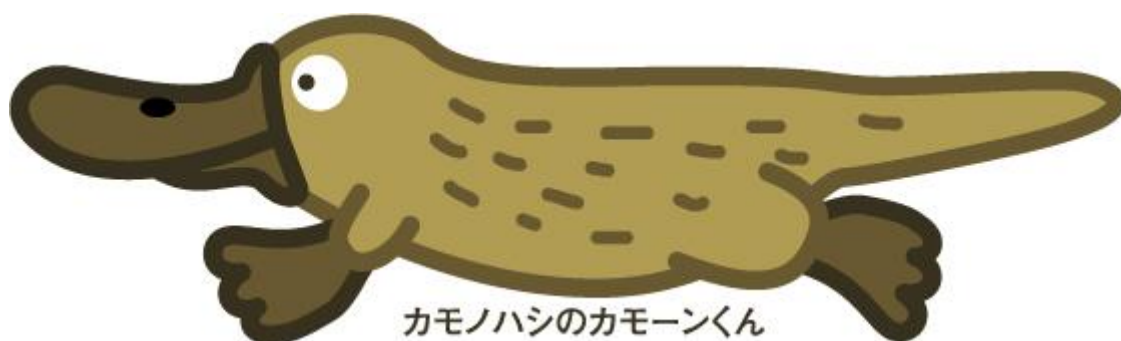


信幸プロテック株式会社 2011 年度版 環境報告書



※本書は岩手大学で開講されている「環境マネジメント実践演習」において編集・作成されたものです。

目次

1.	企業プロフィール	3 - 5
2.	環境計画	6
3.	環境目標、環境活動計画	7
4.	環境実績	8 - 10
5.	業務内容の紹介	11 - 13
6.	業務事例	14 - 15
7.	エコチームの紹介	16
8.	社内エコアクション	17 - 19
9.	評価	20 - 22
10.	編集後記	23

企業プロフィール

会社概要

会社名	信幸プロテック 株式会社
設立年月日	昭和 62 年 5 月 1 日（平成 19 年 7 月 1 日に信幸冷熱サービスより名称変更）
代表者	代表取締役 村松 幸雄
資本金	1000 万円
所在地	〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢 8-5-1
TEL	019-697-7200 FAX 019-697-7209
従業員数	25 名 (H23 年 現在)

事業内容

我社の4つのエンジンとコックピット

■設備部

設備の総合クリニックとして、メーカーや種類を問わず、お客様の環境と安全、安心を守ることを使命とし、快適環境をイメージしながら日々の予防保全、保守管理、修繕、改善提案を行っています。

■トータルエンジニアリング部

空調機器のみならず建築設備や生産設備の最適化が中心業務です。私達は「空気と水（液体）と省エネルギー」に於いて、お客様の問題や障害に誰よりも速く気づき、或いは理解をし、お客様にとって最適な状況に改善することを使命とします。

■住む～ず部

住まいの“安心と快適”が当たり前のもので備わっています。ひとたび

故障などが起こり、お湯が使えない、水漏れしているなどとなると、その安心と快適が一度に“不安と不快”に変わってしまいます。私達は一刻も早く、その安心と快適を回復することを仕事としています。

■営業部

お客様の困っている声に耳を傾け、環境を守る省エネルギー、省マネーの快適設備へ改善提案を迅速に進めることを使命とし、誰からも相談しやすい部門を目指します。

■経営管理部

飛行機のcockpitのごとく「機体の整備が行き届いているか（社内教育の重要性）」また、「燃料は不足していないか（経営状態は良好か）」、「針路・視界良好か（我社の進むべき道すじ）」

日々の窓口業務で、まずは明るい第一声を心掛け、お客様に安心を与えられるようサービスマンと連携し、適確な判断でいち早く安心と安全をお届けします。

経営理念

1. 私たちは 地域の産業と人々の暮らしの役に立ち、社会にとって無くてはならない存在で在り続けたい（社会性）
2. 私たちは 我社のビジョンと共に自己の夢の実現に真摯に取り組み、豊かで幸せな人生を築きます（人間性）
3. 私たちは 他に先駆けて多くを学び、高い技術力でお客様の満足を追いつけるエンジニア集団を目指します（科学性）

《私たちは設備の総合病院です》

※設備の総合病院とは

人間の体に例えて、頭から足もとまでの病院科目を見てみれば少なく見ても20科目は下らないでしょう。我社の目指す設備の総合病院も20を超える専門科目のエキスパートを備えた組織にし、それぞれが独自に経営を成り立たせ、科目同士が互いに支え合う強靱なアメンバー組織を目指します。

設備の病院であるからには新築工事の現場には一切関わらず、既存の設備にこだわり続けて「保全、修繕、改善」の場面でしか活躍しません。ここが重要な

コンセプトです！！その目指すところは経営理念の実践であり、共の成長と共の幸福実現です。その手段として《私たちは設備の総合病院です》の完全実現をしたいと切望します。これは全国的にも稀有な存在でありまさに私たちの存在意義であり、経営理念を実践するにふさわしい考え方と思っています。

環境理念

私たちは《設備の総合病院》事業を通して可能な限り最大限の努力を払い「幸せの見える未来づくり」のために環境事業を展開していきます。

環境事業

1. 保全事業で環境保護

汚れによるエネルギー浪費の予防保全

2. 修繕事業で環境保護

故障、劣化、変形、不具合によるエネルギー浪費の対応修繕

3. 改善事業で環境保護

省エネと省マネーは多々しい設備と正しい管理から／改善提案事業

今や環境が大事であることは老若男女の誰でもが言います。しかし自分が生きるために環境をどれだけ犠牲にしているかを考え、対策している人はほとんどいません。むしろ傲慢にも自分だけは特別扱いをしてもらい、他の人々に環境保護を押し付けている姿勢がほとんどです。エゴがエコを唱えているのです。我社、私たち、私の実態はどうでしょうか？胸に手を当て考えてみましょう。そんな思いが我社の中に行動を起こさせ始めました。それが環境委員会（エコチーム）の発足となり「エコアクション21」であり、「省エネ促進事業」を起点とした「新しい仕事づくり」です。

私たちは、自らの生き方に於いて環境保護を重点に行動をすると同時に事業活動に於いてはより強力な集団行動として環境保護事業を展開していきます。

個人や社内で環境保護をすることも大事で取り組んでいくと同時に、事業としてより大きな集団でしかも日々繰り返される事業として取り組めば、ほぼ永遠に継続ができ、そして社員の家族や取引先までも巻き込んだ膨大な環境貢献になります。

環境方針

私たちの手でかけがえのない地球を守りたい

私たちは建築設備と産業設備に関わり、エネルギーを取り扱う使命として、省エネルギー設備の提案と事業活動のあらゆる分野で環境を守る行動に努め、地域の産業と人々の暮らしの役に立ち、なくてはならない存在となります。

全社員が「**私たちは省エネルギー活動で地球を守り続けていきたい!**」との信念を掲げ努力と貢献を続けます。

行動指針

➤温暖化ガス排出量の削減と省エネルギーで地球を守ります

- ・燃費改善に全員で努めます
- ・電力使用量の削減に努めます
- ・高効率機への更新提案で省エネルギー化を促進します
- ・冷凍空調設備の事業活動を通して、特にフロン類回収率アップのため、啓蒙活動に率先して努めます

➤排水量の削減

- ・節水を心がけて最適消費で水資源を有効に使います

➤廃棄物の削減と循環型社会を目指します

- ・常に整理整頓、率先した再資源化・再利用を行い、廃棄物の削減に努めます
- ・社内活動「エコアクション」に積極的に参加し、社内整備・改善に努めます

➤エコアクション21ガイドラインに従って運営し、全社員及び社会に約束し、活動結果を公開します。

「守ろうオゾン層、防ごう地球温暖化」

2011年11月11日
信幸プロテック株式会社
代表取締役 村松 幸雄

環境目標・活動計画

信幸プロテック(株) 環境目標・活動計画

No.	環境目標	方法	活動計画	
1	温室効果ガス排出量の削減 電力使用量 昨年比-15%	空調温度の管理	エアコンを夏季24℃に冬季22℃に設定する	
		不使用電力の節約	休み時間は消灯する 分電盤に電気計測ブレーカー設置し、何に負荷が大きいか調	
			タップコンセント取付け、退席時電源OFF	
	燃費改善率目標 10%UP	ガソリンの節約	OA機器は省電力設定にする	エコドライブを実施する
				アイドリングストップを実施する
		灯油の節約	冷媒加熱エアコンを冬季22℃に設定する	
	灯油の使用量 前年比-10%			人が少ない時は使用を控える
		現場での相談窓口役となる・営業提案	既存顧客へ省エネ設備の提案	
		フロンガス回収率アップ	七条認定事業所としての営業推進*2	
2	総物質投入量の削減 【コピー用紙の投入量に限る】 前年比 -10%	FAXを紙で出さずにメールで受信し確認	必要以外は印刷しない	
		古紙の再利用	コピー用紙に裏紙使用	
3	排水量の削減 前年比 -10%	節水の励行	朝礼などで励行を呼びかける 節水表示をする	
4	廃棄物総排出量の削減 前年比 -10%	裏紙の使用	コピー用紙に裏紙使用	
		古紙の分別	古紙・雑誌・チラシ等を燃えるごみではなく、 分別して資源ごみとして出す	

*1 誰もいない深夜に、電気の使用が減らないことがわかり、電気ポットが原因と判明。タイマーを取付け、19時～翌朝8時まで電気がOFFになるようにした。暖房便座にもタイマーを取付け、全体で夜間の使用電力が減少した。

*2 七条認定処理受注数 H22 23件/年 H23 91件/年

環境実績

燃えるごみ

【燃えるごみ】				
単位(t)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
5月	0.36	0.07	0.34	0.24
6月	0.26	0.40	0.47	0.26
7月	0.24	0.31	0.30	0.35
8月	0.36	0.24	0.31	0.34
9月	0.23	0.36	0.24	0.15
10月	0.26	0.23	0.36	0.29
11月	0.37	0.26	0.26	0.22
12月	0.31	0.37	0.28	
1月	0.52	0.31	0.30	
2月	0.31	0.52	0.27	
3月	0.22	0.31	0.17	
4月	0.34	0.22	0.33	
年間	3.78	3.60	3.63	1.85

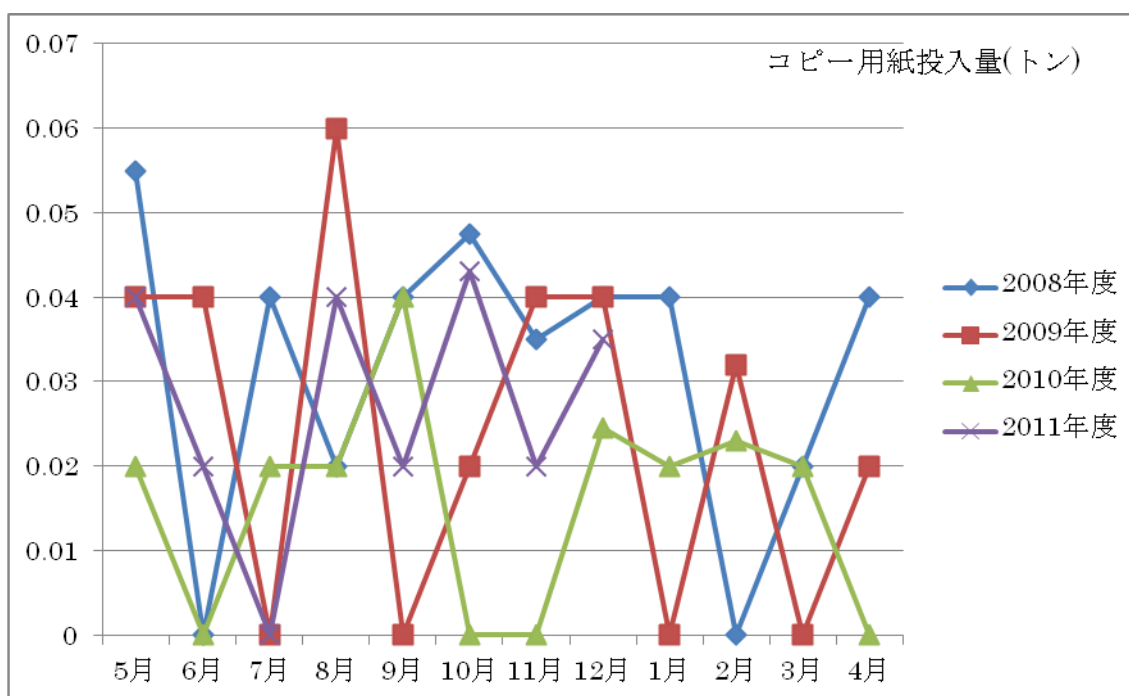
廃油

【廃油】				
単位(t)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
5月	0.0	0.2	0.0	0.0
6月	0.0	0.2	0.0	0.3
7月	0.3	0.0	0.0	0.4
8月	0.0	0.0	0.1	0.9
9月	0.0	0.0	0.2	2.2
10月	0.3	0.3	0.0	0.3
11月	0.0	0.0	0.0	0.3
12月	0.4	0.2	0.0	
1月	0.0	1.0	0.0	
2月	0.0	0.0	0.0	
3月	0.0	0.2	0.0	
4月	0.0	0.0	0.5	
年間	1.00	2.10	0.80	4.40

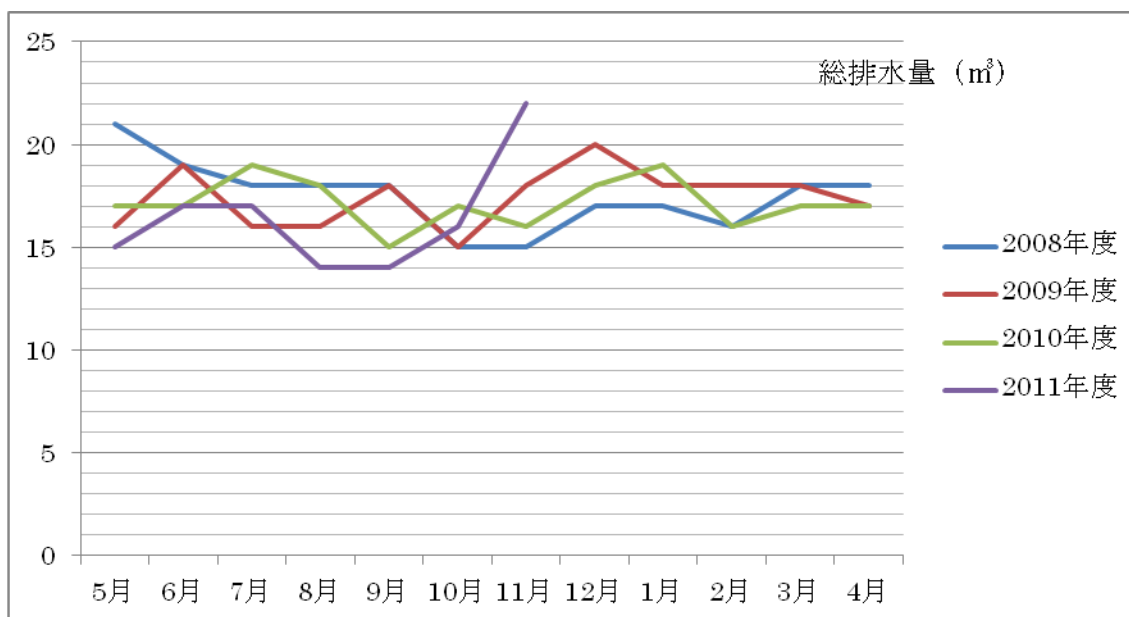
廃プラスチック

【廃プラスチック】				
単位(t)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
5月	0.123	0.000	0.000	0.162
6月	0.090	0.095	0.000	0.000
7月	0.000	0.000	0.140	0.250
8月	0.070	0.160	0.200	0.050
9月	0.120	0.000	0.212	0.190
10月	0.000	0.140	0.000	0.130
11月	0.245	0.260	0.010	0.070
12月	0.070	0.200	0.000	
1月	0.228	0.250	0.250	
2月	0.030	0.070	0.000	
3月	1.105	0.020	0.155	
4月	0.020	0.180	0.000	
年間	2.101	1.375	0.967	0.852

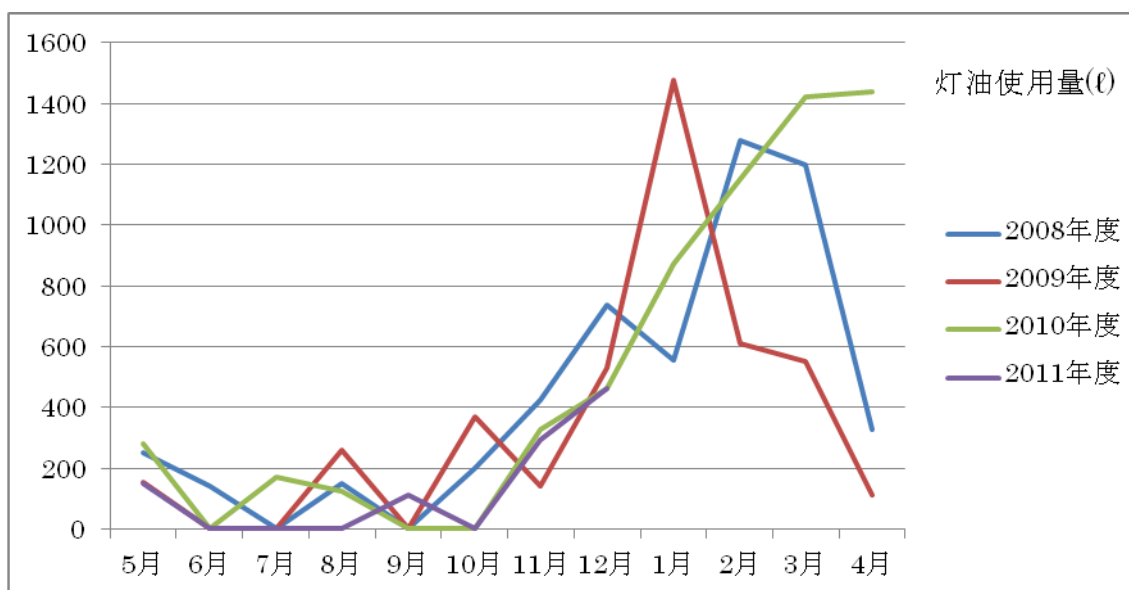
コピー用紙投入量



総排水量



灯油使用量



従量電灯(C12KVA)

単位(kwh)	2008年	2009年	2010年	2011年
5月	1,477	1,369	1,423	1,162
6月	1,455	1,484	1,454	1,044
7月	1,757	1,858	1,775	1,216
8月	1,930	1,846	1,996	1,157
9月	1,730	1,490	1,882	1,121
10月	1,394	1,348	1,356	1,272
11月	1,836	1,780	2,065	1,542
12月	2,155	1,950	2,213	1,956
1月	2,557	2,237	2,454	
2月	2,233	2,017	1,981	
3月	1,995	1,932	2,124	
4月	1,846	1,945	1,581	

業務内容の紹介

私たちは吸収式冷温水機の整備を中心とした空調機械設備へ関わることを通じて予防保全の提案を行い、お客様の環境・設備を守ることを使命としています。環境負荷の少ない空調環境の保全と改善をおこなっていくため、省エネルギー・省マネーに関するエンジニアリングや環境エンジニアリングをおこなっております。

ここでは特に環境に配慮した業務について紹介します。

◆吸収式冷温水機の設備・施工

大規模なビル、工場、店舗、及び事務所用の空調設備です。ガスや灯油、重油を燃焼させた熱で冷水や温水を作り出す機械です。冷暖房や工場の熱源となっています。

水の気化熱を利用して冷水をつくるシステムで、水の蒸発・吸収・再生・凝縮を繰り返します。冷媒に水、吸収液に臭化リチウムを使用し、フロンを使用しない環境にやさしい冷房システムの設備・施工をおこなっています。



<吸収式冷温水機データ採集>



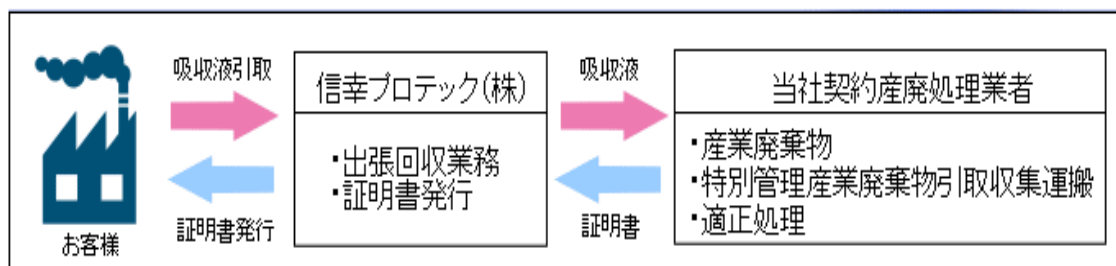
<吸収式冷温水機点検中>

吸収式冷温水発生機で冷媒として使用される臭化リチウムは、当社で産業廃棄物回収として回収業務をおこなっております。

吸収式冷凍機・冷温水機などの

◆臭化リチウムの（吸収液）回収

吸収式冷温水発生機で冷媒として使用される臭化リチウムは特定フロン類ではありませんが、当社では産業廃棄物回収として回収業務をおこなっております。現在、吸収液（臭化リチウム水溶液）の適正処理が求められています。



回収工事及び、産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物処理・リサイクル処理にて適正処理を行っています。吸収式冷凍機・設備修理更新時などに排出される洗浄廃液、吸収液（六価クロム含有臭化リチウム）・ブラインや冷凍機油など、当社の技術者が確実に抜き取り回収を行います。回収した吸収液（六価クロム含有臭化リチウム）・ブラインや冷凍機油といった廃棄物を産業廃棄物・特別管理産業廃棄物として、処理業者が確実に運搬・処理します。



<回収作業の様子>

吸収液とは？

吸収式冷凍機の冷凍作用をつかさどる重要な機能を受け持っている部分に於いて、高真空中で水（冷媒）を強力に引き付け吸収し、冷却する作用を受け持っている液体です。その液体は主に、臭化リチウム溶液でハロゲン化合物です。また吸収液は金属に対して強い腐食性を持っているので、防錆剤としてクロム酸などの有害物質を含んでいるものが多く、専門知識の無い廃棄による環境汚染が憂慮されるものです。捨てれば汚染物質、集めれば資源となります。

空調機・冷凍機・旧ターボ冷凍機

◆フロンガス回収処理

フロン類の大気中の放出を抑制していくためには、フロンの回収が必要です。オゾン層を守り、地球温暖化を防止するには、ビル空調、食品のショーケースや業務用の冷凍・冷蔵庫、冷凍倉庫などの業務用冷凍空調機器から、オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロン類を適切に回収することが必要です。

空調設備に携わる責任として、お客様や私たちが暮らす地球環境のため、「フロン回収法」の施行に伴い、省令第13号第7条に基づき

岩手県フロン類引取処理事業所 知事認定【第1号】

を取得しました。

自社は**岩手県知事が認めた処理代行業者**です。



＜自社フロン回収充填所の回収装置＞

＜冷媒回収技術者による移充填作業＞

業務事例

フリークール設備とは

【特長】

- ◆自然エネルギーを利用するため、自然にやさしい
- ◆既設機器（冷却塔等）を利用できるため、リニューアルに最適
- ◆開放型冷却塔により、ダイレクトに冷水を製造するため、運用期間が熱交換器使用時より長時間稼働できる
- ◆フリークール中は、燃料（A重油）を使用しないため、CO₂削減に貢献

【フリークールが省エネとなる条件】

- ◆運転時間が長い
- ◆冬期でも冷凍負荷がある
- ◆比較的外気湿球温度が低くなる地域（乾燥している時期・地域）
- ◆冬期の冷水温度は高くても良い

今回施工のフリークール設備

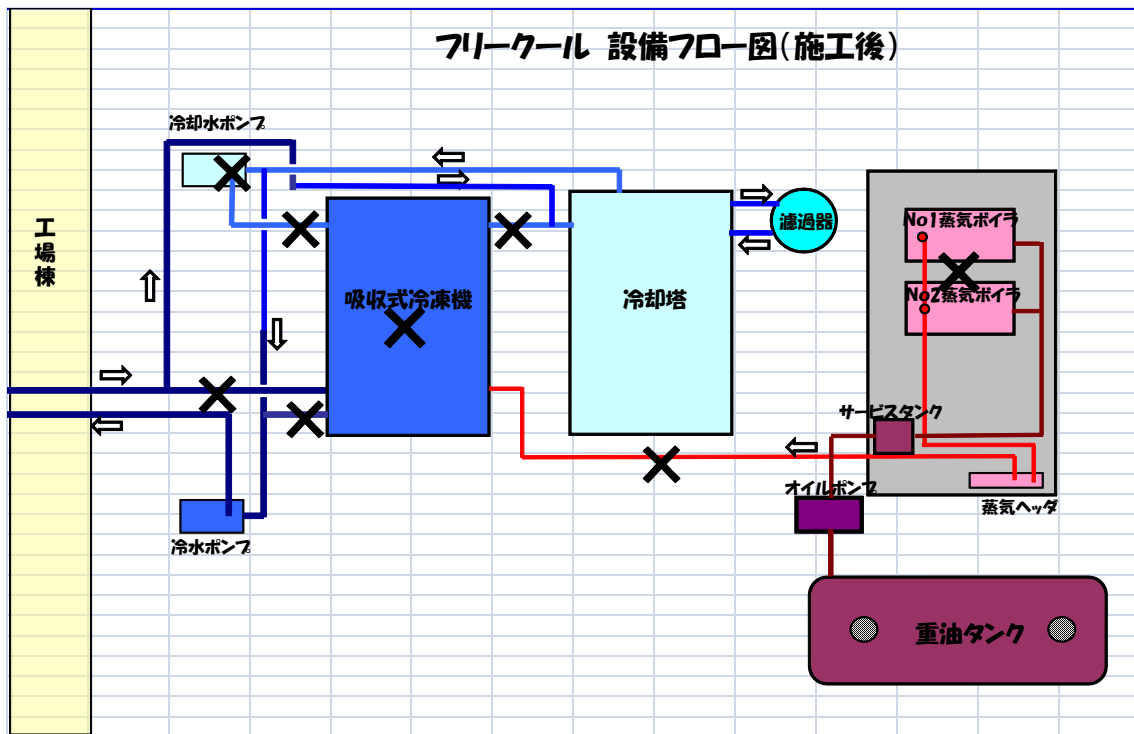
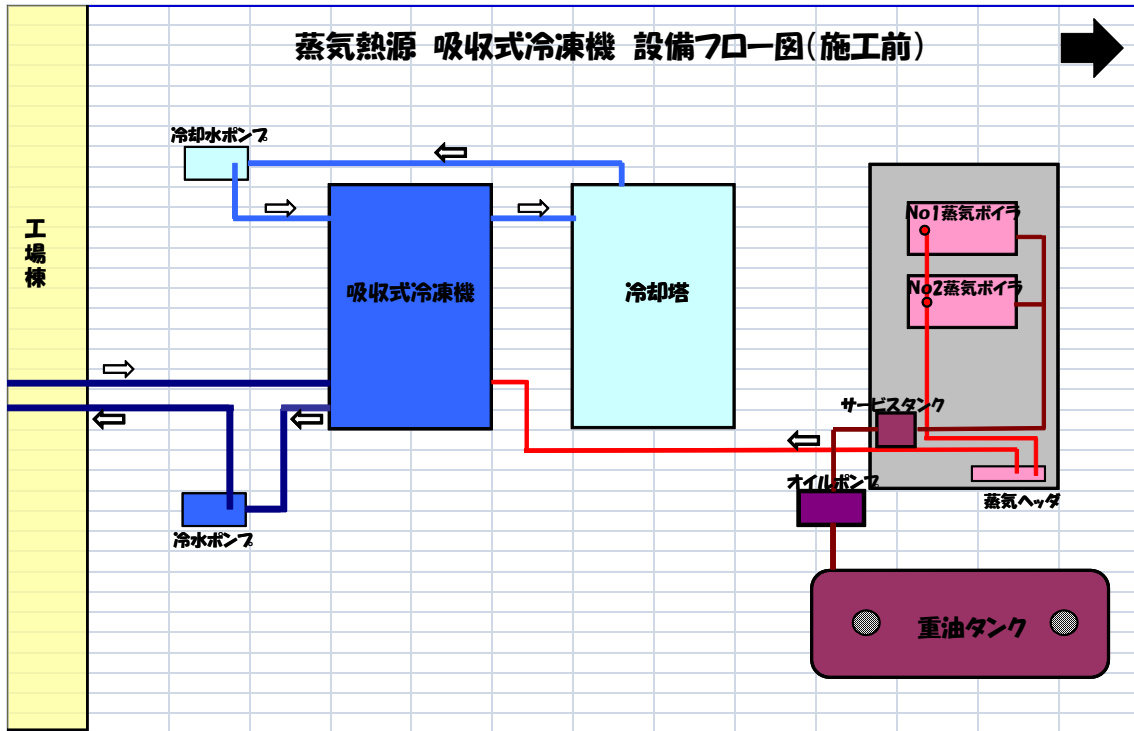
24時間操業の発熱製造工程の空調設備に使用している吸収式冷凍機の熱源蒸気ボイラーの重油消費・エネルギー削減を目的としたトフリークール

【設備の概要】

室内温度より外気温度が下がった時点で、蒸気供給を停止し、吸収式冷凍機を止め、低温外気温度で冷却塔の水で冷やし室内放熱機に供給する。それにより大幅なエネルギー削減が実現された。

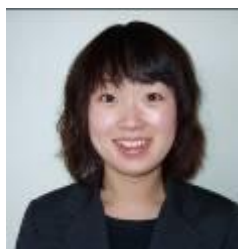
設備総額900万円に対し、たった一冬（12月～3月）の期間に1千万円程度のエネルギー削減ができた。

H23.7月に施工した同設備は、3月11日東日本大震災以降のエネルギー・電力削減目標に対しても大きく貢献した。



エコチームの紹介

★エコチーム★



佐々木 規江・小笠原 利章・照井 りえ
福土 修・赤沼 慧・村松 守・北田 英範

7名で毎月1回のエコミーティングを実施

社内の省エネや整理整頓に関して、日々
いろんなアイデアを出し、苦痛ではなく
楽しみや喜びとなるエコ活動を展開したい
と思っています。

日常業務に追われることもありますが、
各部門長と連携し、社内および部門内の
エコ意識向上と活性化につながる様に
団結してがんばっています。



社内エコアクション

信幸プロテック版エコアクション

～今いる場所で、自分たちのできることから～

- ◆「信幸プロテック版エコアクション」とは？
「今いる場所で、自分たちのできることから」という思いから始められた、社内でのエコ活動です。社員の有志から構成されるエコチームが毎月ミーティングを開いています。2ヶ月に1回エコアクションデーを設けて、電力削減のための取り組みや社内環境の美化・改善などの活動をしています。



ミーティングの様子

- ◆エコアクション例

- ①電力の削減

- ・グリーンカーテンづくり

- …アサガオ、ヘチマ、ゴーヤを植えました。日よけ効果があり、エアコンの使用を抑えることが出来ました。



- ・節電タイマーの取り付け

- …電気ポットや暖房便座に写真のような節電タイマーをつけました。夜間に電気がOFFにな



るよう設定し、無駄な電力消費を減らしました。

②社内環境の美化・改善

・ゴミ置き場の整理

…作業効率のアップや、分別を正しくすることにつながりました。

③エコドライブの呼びかけ

・「燃費ランキング」を作成

…ゲーム感覚でランキングをつけることで、一人ひとりがエコドライブを意識するようになりました。

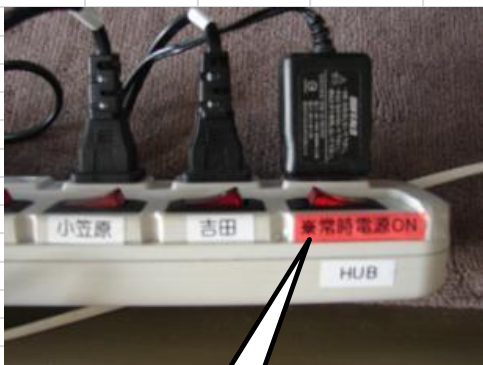
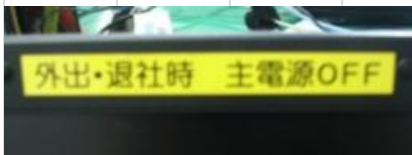
エコアクションの成果は、報告書の回覧やメール配信を通じて社員全体で共有します。

以下は待機電力の削減を目標に行われた回の報告書の一部です。

デスク上にタップコンセント設置



「外出・退社時は、必ず主電源をOFFにしましょう」
 朝まで点けっぱなしの時は、声かけますので



サーバやHUBは
 電源入れたままで！
 「常時ON」
 が目印

エコワットメーターにて測定
 パソコンの待機電力使用量と料金

【料金】 0.4円/時間
 $\times 23 \text{台} \times 24 \text{時間} = 220.8 \text{円/日}$
1ヶ月6,624円

【使用量】 0.01kwh
 $\times 23 \text{台} \times 24 \text{時間} = 5.52 \text{kwh}$
1ヶ月165.6kwh

信幸プロテック1ヶ月の
 平均電力使用量: 1,800kwh

全員で「主電源OFF」に心がけると
 1ヶ月の電力使用量のおよそ
9%を削減することができます

評価

各部門長より一言

☆エコアクションを通して感じたこと

★今後部門として、省エネやエコアクションとして取り組みたいこと（PR含）



【設備部】戸川 博信

☆ゴミ置場がきれいになって良かった。設備部は、修理コール対応や冷暖房切替の繁忙期等、エコアクションに参加できない時があり、決まった人になってしまうことが予想される。

☆軽トラックを買って、小さなボイラー等は小まめに処理したら良いと思う。

★事務所の暖房の設定温度が高く感じるので、事務員さん用に湯たんぽを置いたりして、設定温度をもう少し下げる工夫ができないか。

★事務所の古いエアコンを効率の良い電気式に入替したほうが良いと思う。

★残業を減らす努力をし、目指せアフター5



【住む〜ず】遠藤 光司

☆全社員が一丸となり、電気代の削減のために取り組み、全員が同じ目標に向かう姿勢ができて良かった。

会社全体の整理整頓は見た目がいいし、小まめに行う習慣をつくりたい。

何よりも大事なことは、エコアクションを継続していく事だと思いました。

★エコアクションを継続して取り組む。

★各倉庫の整理・整頓。

★事務所の窓にミナミヒーティングさんの商品「まどりーど」を取付け、どのくらいの省エネ効果があるか見てみたい。良ければ、お客様にも積極的に提案したい。



【営業部】村松 守

☆始めてから一人一人の意識が変わった。手をかける人が増えた。

★分別をよりきちんとして細分化したい。



【トータルエンジニアリング】吉田 賢一

☆社内での節電に対する意識が高まった。

★地熱利用の空調設備を学び、提案・施工を実現していきたい。



【設備部】水澤 和彦

☆車の運転の仕方や車載工具について考え直す良い機会になりました。

★さらに材料、資料、工具等を整理・整頓する事により探す時間のムダを無くしたい。



【トータルエンジニアリング】小笠原 利章

☆社用車の燃費向上の取組は良かったと思います。「エコドライブ推進」とただ謳うより、毎月の燃費をみんなで確認し合う事、改善率で上位者を表彰し、賞品贈呈を行う等、全員の意識が高まったと思います。省エネの取組は、「楽しくやる」が続けられる秘訣と実感。

★他社ではできない「気づき」と「提案」で、省エネに貢献していきたいと考えます。



【経営管理部】村松 直子

☆節電やリサイクルに対して「会社から言われたこと」ではなく「全員で取り組むこと」という意識が生まれ、成果が上がった。

☆グリーンカーテンは、社内だけでなく、お客様との会話のきっかけになり、雰囲気良くなった。

☆ブログに取り組みを掲載することで、アクセス数がアップして取組の認知度も上がった。

★インターネットFAX導入や技術資料のデータ化による紙資源節約と時短

★部門長会議にて「5S」や整頓の取組をする新たな委員会立ち上げを検討中。

★断熱対策（まどりーど等）



【営業部】佐藤 博夫

☆活動当初は、全員の意識が高まりとても良い結果をもたらした。

最近その意識が薄れ、無駄な照明、暖房が目立つ。常に数的結果を発表し、啓発していくことが継続につながると思う。

★省エネについて、お客様に提案していく事は自社の務め。

新しい情報や仕組み、方法を手に入れる事にさらに努めたい。

社長より一言

■ 総合評価 ★☆☆ ・ ・ 我社の大いなる進化の兆しです！

※ 目指していた環境経営に目覚め、取り組む社員が増えて心強く思っている

- ・ 環境チームを結成してからの当社の社風に自主性の高い社員が増えてきた。
- ・ 環境を考えることから「協力・共育ち」の相互連携意識が育ってきた。
- ・ まだ始まりの段階ですが「環境経営」の経営社員が増え期待が持てるようになった。

■ 感想

※ 我社が目指す環境経営の「設備の総合病院」の構築に弾みがついた。
感謝！

環境チームを結成したことで、自分の頭で考え、自分たちで運営することが大いなる気付きと成長の原点であると改めて実感いたしました。特にも今回の岩手大学の学生さんと共に作成を手がけた環境報告書では「我社のプロフィール」を作成し、様々な環境報告書の要件に触れるたびにたくさんの事柄を学びました。

学んだことを足掛かりに更なる進化する環境意識のもとで「設備の総合病院」の早期構築を目指したいという意識も高まりました。環境意識の高まりは多面的に我社の経営理念の実践に好結果をもたらし、企業の社会使命を果たすことに繋がり、以て社員の物心共の幸福の実現に繋がっていけると確信しました。

このたびの岩手大学の皆様から我社の環境経営に取り組む社員に大きな気づきと弾みをいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

編集後記

今回、岩手大学の環境マネジメント実践演習を受講し、企業の方とともに環境報告書を作らせていただき、それは大変貴重な経験だったとおもっています。作製にあたり、協力してくださった先生方、学生の2人、そして信幸プロテック様には感謝してもしきれません。今回の作製を通し、さまざまな経験、知識を得ることができました。今後、学生生活、社会人になった後でも、この経験を活かし、自らの糧となるように今後も積極的にこういった学習に関わりたいとおもいます。最後に、さきほども述べましたが、先生方、高橋さん、吉田さん、そして信幸プロテック様に感謝の言葉を述べ、後記とさせていただきます。皆様、本当にありがとうございました。

人文社会科学部 法学・経済課程 2年 立波大地

環境報告書を作らせていただくにあたり、信幸プロテック様に訪問する機会が何度もありました。実際の業務事例の見学は、環境に配慮した業務を理解する上で、とても貴重な経験になりました。特に、フロンの回収、臭化リチウムの回収などは県内でおこなっている業者が少なく、冷凍空調設備の事業活動を通しての啓蒙活動は効果的だと思いました。

最後になりましたが、データを提供していただいたり、文章を書いていただいたり、こちらで面倒な頼み事をしてばかりで、信幸プロテック様の負担が大きくなってしまい申し訳なく思っています。多大なるご協力をいただきました。信幸プロテック様、忙しい中、お時間をとって作成にご協力いただき、本当にありがとうございました。作成に関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

人文社会科学部 環境科学課程 2年 高橋真未

この報告書の作成を経て、多くの学びがありました。私は主にエコアクションのページを担当したのですが、この取り組みが「仕事」ではなく「有志」で行われていることに驚きました。ごみ置き場の整頓や、グリーンカーテン作りなど、その取り組みは決して大きなことではありませんが、できること・身近なことから始めて、継続していくことが大事なのだと改めて感じました。エコアクションの企画者であり、この報告書作成にあたって私たちと何度も話し合いをもってくださった佐々木様からは、「やらなきゃ」という言葉をたくさん聞きました。ご自分のお仕事と環境とが関連していることをはっきりと自覚してらっしゃるのだなと思い、またそれがエコアクションを通して社内に広まっている様子も感じました。信幸プロテックの皆様には、感謝の言葉を尽くしても足りません。私たちを温かく迎えて入れ、企業が社会に果たす役割を肌で感じる機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。

人文社会科学部 環境科学課程 2年 吉田哉子